

学校だより しおやき

NO.8

～明るいあいさつとわくわく感がある学校～

市川市立塩焼小学校 児童数800名
令和6年7月10日(水)発行
TEL 047-397-1231 FAX 047-397-1232

学校教育目標

命 はなまる!

かしこく 誇らしく ねばり強く

【めざす児童像】

- ・ 考え、判断する子
- ・ 自分も相手も大切にできる子
- ・ 体をきたえ、ねばり強く取り組む子

校長 吉田 直美

わからないことを調べる力がついてきています!

- 1 回目の応募者は 22 人正解者 16 人。
2 回目の応募者は 48 人正解者 28 人。
そして3回目の応募者は 126 人正解者 116 人

校長室クイズ第3弾の結果です。前回までの2回は「自然観察問題」でしたが、今回は「漢字クイズ問題」にしました。

応募締め切り2日前に迫った昼休み、こんなうれしいことがありました。クイズに取り組んでいた6年生が国語辞典を使って調べ始めていたのです。予想した熟語が果たして存在するのかどうか、どう調べたらよいかを考えて予想を確実なものにしていました。学校司書からその報告を受け、思わず笑みがこぼれました。私のねらいが**つぼみ**を持ち始めたのです。

そう、この校長室クイズの目的は「正解すること」ではなく、「正解するまでの過程を楽しむ心を持つこと」です。観察したりインタビューしたり調べたりすることで、自分の立てた仮説が本当に正解なのか確信を持ってほしいのです。「答えを知りたい」だけでなく「答えを自分で導き出したい」と思える塩焼っ子になってほしいのです。

なぜかという、これからの時代は、正解のない困難な課題に対して、自分の持つ課題解決能力を発揮して前進していく時代です。

そこには「逃げない力」「踏ん張る力」「考え続ける力」「失敗を恐れない力」等、その能力を数値には表しづらけれど大切な力である「非認知能力」と言われているものが必要になります。

日々の生活の中で、失敗したり悩んだり悲しんだり喜んだり。そんな感情が子どもたちを必ず成長させてくれます。子どもの自力を信じて見守っていきましょう。



暑いのにプールに入れない!

毎日のように発令される、暑さ指数を基準とした熱中症警戒アラート。子どもたちの生活にも大きな影響を及ぼしています。アラートが発令されると、外遊びができません。校舎内で過ごすこととなります。中には教室内で簡単に楽しめるレクリエーションを企画してやっている学級もありますが、高学年と違い、低学年の子どもたちにとっては、教室内で静かに過ごすことはなかなか大変なことです。

アラートに関しては、水泳学習も同様です。暑いからプールで水泳学習を実施するにもかかわらず、暑すぎてプールでの水泳学習が中止になるということが起きています。実施できた場合も、頻繁に暑さ指数を計測し、31以上の場合にはすぐに水から上がり教室に戻るようにしています。唇を紫色にして震えながら入った頃の水泳学習が懐かしい・・・